

授業科目

解剖生理学実習

【担当教員名】 川中健太郎	対象学年	1	対象学科	健康
	開講時期	前後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	90

【概要】
 前期は、”自分自身の身体について生理学的に理解する”ことを目的とした実験・実習を行う。すなわち、自分達自身を被験者として、いくつかの身体機能をあらわすパラメーターを測定する。
 後期は、動物を用いて、栄養素の代謝のしくみ、また、過剰栄養摂取にともなって生活習慣病がひきおこされるしくみを実験を通じて理解する。その他、人体解剖模型、あるいは、顕微鏡による組織観察を通じて、解剖学的知識を学ぶ。

【学習目標】

- 1) 自分自身の身体について興味をもち、生理学的に理解する。
- 2) 運動ならびに食事摂取にともなって生じる生理学的反応・変化を実験を通じて理解する。
- 3) 臓器の位置や解剖学的特徴を理解する。
- 4) 実験レポートの書き方を学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
前期	1 ガイダンス		講義
	2~5 人体の形態観察 体脂肪率の測定 血圧測定		実習
	6~9 最大酸素摂取量の測定 人体模型の観察Ⅰ		実習
	10~14 筋電図 人体模型の観察Ⅱ		実習
後期	1~5 消化実験 人体模型の観察Ⅲ		実習
	6~9 動物を用いた栄養実験Ⅰ(タンパク質摂取量と成長) 顕微鏡による組織観察Ⅰ		実習
	10~12 動物を用いた栄養実験Ⅱ(肥満と糖尿病) 顕微鏡による組織観察Ⅱ		実習
	13~14 テスト		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	なし			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 レポート、試験および出席状況	【履修上の留意点】 事故防止のため、服装(白衣、上履の着用)、 実験機器の取り扱い等について注意すること。 (詳細は第1回目のガイダンスにおいて説明する)
--------------------------	--